

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ひだまりっこ		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々のスタッフが利用者様に真摯に向き合い、特性や課題を把握していることによって、タイミングを逃さず必要な支援を行い、利用者様の成長につなげることができる。	・様々な職種、勤務時間、業務のスタッフが、都度ミーティングや研修会、情報共有を行い、共通理解のもとでチーム支援に取り組んでいる。	・事例検討を通じて、特性に対する効果的なアプローチを蓄積し、共有する。 ・療育やケアに関する外部および内部研修の機会を通じ、スタッフの専門性をさらに引き上げる。
2	・5領域支援を網羅する豊富な活動内容	・障害の有無、ケアの有無にかかわらず、どのお子様もありのまま安心して過ごすことができるよう多彩な活動を行い、好きなことや楽しいことを見つける。 ・本人・家族・地域とご本人を取り巻く環境全体に目を向け、ご本人やご家族様の安心できる生活につながる支援を継続的に行う。	・お子様が自ら活動を選んだり、意思表示できる機会がさらに増えていくよう、自発性を育む取り組みを行う。 ・公園以外の地域施設や近隣住民との交流機会を確保し、子どもたちが社会と触れ合う体験を広げる。
3	・保護者様や関係機関との連携体制	・個人面談や自由参観日を通じ、気軽に事業所に足を運び、お子様や活動の様子を見ていただけるようにしている。 ・アプリの支援記録を通じて利用者理解を深め、日々の支援を実践し、お子様の変化を見逃さずキャッチし、ご家族の不安やお悩みにも丁寧にお答えできる。	・参観時には保護者の方にも、可能な活動には参観だけでなく参加していただけるような取り組みを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタッフ数が多く、日々の支援に直接関係の少ない事柄(第三者委員、業務継続計画等)について、スタッフ全員に浸透しづらいこと。	・様々な職種、業務内容のスタッフがおり、勤務時間や日数、関わり方も異なるため、事務的な内容や様々な変更点等を、一堂に会して伝達できる機会がないこと。	・ミーティングでの情報共有、勉強会や研修会実施等で、様々な情報を繰り返し伝達し、理解を深められるよう努める。
2	・幼稚園・保育園の受け入れが柔軟になり、療育も展開する園が増えてきている中で、働く保護者にも選ばれやすい時間設定や送迎の実施。	・保育園・こども園に比べて支援の提供時間が短い。 ・αチームでは基本的に自力での送迎をお願いしているため、下のお子様の妊娠・出産・育児等で送迎が困難になる場合がある。	・保育園送迎、とくに柏市立保育園の教室送迎に対しても、バスを増便して対応している。 ・医療的ケアがあるお子様でも送迎できる体制をできる限り確保したい。
3	・今年度未実施の保育園交流会や、回数が少なめだったブログの更新等、外部との交流や発信。	・スタッフ数や体制から安全面を優先し、外部との交流は実施できなかった。	・次年度の交流会開催について、近隣保育園と交渉済み。安全に外部との交流会が実施できる体制が整ったので、計画・実施していきたい。